

第4回 障害福祉施策の見直しに関する検討会

日時：平成24年10月11日(木)13:00～15:00

場所：宇部市総合福祉会館 2階

ボランティアセミナールーム(大)

出席者：9団体18名

委員名簿から欠席6委員を除く9委員

市 障害福祉課 中野課長、松谷課長補佐

正木係長、橋口係員

1 はじめに

(1)意見聴取会の出席者を紹介

(2)本聴取会の進行について水田委員に委任することを提案し、出席者から承認される。

(3)検討会の開催に至った経緯について事務局から説明

(4)これまでの議論について事務局から説明

2 各団体からの意見

(1) 心身障害者福祉手当について

- ・ 人によっては金銭的に苦しい人もいる。手当を見直す必要性はあるが、検討にあたってはそのことも配慮してほしい。
- ・ 現在受給している人や低所得の世帯にとっては少額でも重要な収入である。
- ・ 現在の制度は廃止して、施設や人材の整備、確保など他のサービスを充実してほしい。
- ・ 発達障害者も手当を受けられるように拡充してほしい。
- ・ 廃止して他の制度の充実に充ててほしい。
- ・ 障害の程度によらず、手当を受けられるように対象を拡大してほしい。
- ・ 手当を廃止した場合、どのような制度にその予算が割り当てられていくのかわからないと判断が難しい。
- ・ 心身障害者福祉手当を受けられる人はごく一部だけなので、廃止して他の制度を充実させてほしい。
- ・ 同じ障害者の中でも、手帳の等級や課税状況によって手当の受給対象から外れてしまうことに不公平感がある。

(2) 充実、新設を希望する施策

- ・ 障害者の所得向上やそのための環境整備に予算を割いてほしい。
- ・ 障害者に対して就職のための門戸を開いてほしい。
- ・ 福祉コーディネーターを確保してほしい。制度や担当者が頻繁に変わるので、制度への対応が難しい。
- ・ 就労の意欲を持つ人は多いが、環境が整わないために就労できない人がいる。そうした人が就労して社会に参加していけるような整備に予算を使ってほしい。
- ・ もっと様々な場面で移動支援を利用できるようにしてほしい。
- ・ ショートステイのベッド数を確保してほしい。最重度の障害者が利用できるショートステイ施設が必要。
- ・ タクシー券の適正利用を図るとともに、本当にタクシーが必要な人に助成が行き届くよう制度の見直しをしてほしい。
- ・ 情報バリアフリーを進めてほしい。

3 今後の検討予定について

2回の意見聴取会で各団体から寄せられた意見を10月23日(火)の第5回検討会で検討し、取りまとめて第2回宇部市地域自立支援協議会に提言することを説明。